

湧水のメンテナンス

2011年9月17日

清水 香雄 著

清水高原にその昔キャンプ場があったのですよ。
その時の水場だったのがこの湧水です。
だから村の野外活動教室としてみんなが集まった時も
あったのだろうなあと、苔の生えたコンクリート枠を見ながら
思いつつ、
いつも旨い水を戴いております。
清水高原の簡易水道の水源とは違うのですよ、ここの水。
20数年間毎日飲み続けておりますけど、
お腹を壊したことは一度もない！
でも沸かして飲んでね。
お茶の味がよくわかりますよ。



<湧水>



<整備した湧水の周囲>

この湧水は、今は亡き清水高原の指定木こりだった小口さんが
3年前に大改造してくれたんですよ。
私も一度改修にトライしたのですが、雨量が減るとすぐに水が
止まってしまう。それを見た小口さんがなんと岩盤を掘って
安定した流水を確保してくれたのです。
そのときの小口さんの言うことがよかった。
「オラが遊びに来た時いつも旨い水が飲みたいからやっただ」
その小口さんもこの翌年に55歳の若さで急逝された。

学校は違うけど、小口さんと同学年の私は
その遺志を勝手に受け継いで
毎年春先雪融けで傷んだ湧水をメンテして
おります。

雪の力って厄介なんですよ。
メンテも一度位じゃ上手くいかない。
2・3回やって、やっと何とかなる。

春先少し濁っているときはメンテ直後だから
3・4日してからまた来てね。
あと、カモシカや熊も来てるからね。



<車を止めて更に道を奥に>